

お知らせ

○チェーンソー安全研修：12月6日（日）に計画していたちば里山センター主催、木村講師のチェーンソー安全研修を1月11日（月、成人の日）に延期して実施します。受講希望者は事務局上記アドレスにお申し込みください。

○年度内の活動計画：

1月11日（月、成人の日）チェーンソー安全研修、巨木林下層木調査。研修受講しない会員の参加協力が必要。

2月14日（日）；相対照度測定、樹木生長量調査、活動報告会。多くの会員の参加を期待します。

3月22日（月、春分の日）キノコ植菌、ニホンジカ調査、食害調査。年度内多くの作業を残していて、多くの会員の参加が必要です。参加協力をお願いします。いずれも9時30分清和県民の森第二駐車場集合。

○ちば里山新聞第21号；ちば里山センターホームページで閲覧下さい。メールのない会員には同封郵送します。

活動の記録

11月19日（木）雨 臨時活動日；森林研究所・ちば里山センター・県緑化推進委主催の21年度里山公開講座3日目の実地研修が受講者32名（内会員4）研究所スタッフ5名をお迎えして豊英島で開催され、受講者以外の会員も5名参加して会場設営や「千年の森」活動の紹介などに協力。当日は生憎の雨、受講生も協力して急設営のテントの中で、「千年の森」活動の紹介、小平講師の豊英島における「県民参加型の森づくり」のお話につき、講師の案内で森を一巡しながら「広葉樹林の管理」について実地説明。予定されていた成長バンドの作成と設置などは雨脚が強くなり中断されました。寒い雨の中ご参加の受講者、スタッフ、協力参加会員の皆様お疲れさま。



寒い雨の中、講師の話に熱心に聴き入る

12月5日（土）曇午後雨 定例活動日 参加会員9名。

雨予報を気にしながら巨木林下層木調査第2年目の調査を開始しました。女性陣はシイタケ・ナメコ収穫の後、持参したクズの蔓と豊英島のモミヤヒイラギ、松傘、サルトリイバラや色とりどりの木の実を集めて、リースづくりを行いました。昼食後降雨が始まり、残念ながら製作を打ち切りましたが、それぞれ十分な材料を持ち帰り、立派な「森のリース」が完成する筈です。役員は県民の森木のふれあい館に集合し以下の協議を行いました。

- ・チェーンソー安全研修延期に伴う1～3月の活動計画（上記「お知らせ」）
- ・広場の環境整備（テント支柱、物置）・22年度活動助成申請
- ・目標林型と管理目標など今後の検討課題について

夜は鎌田屋旅館で大賀先生青年時代の研究「マダケ林の更新過程」の勉強会。忘年会は6名参加、外は豪雨の音、鎌田屋さん丹精のご馳走と、焼酎のお湯割りをいただきながら、尽きない話に夜の更けるのを忘れませんでした。



ナメコは収穫遅れか開きすぎ



豊英島恒例のリース教室

12月6日(日)快晴 定例活動日 参加会員7名

チェンソー安全研修を延期したこの日は、豪雨明けのすがすがしい青空、紅葉の美しい森で、巨木林下層木調査、研修伐採木選木、食害調査、コナラ更新林の実生成長調査、広場整備用マダケ伐採などの作業に精を出しました、

○巨木林下層木調査；2日間の調査で、植生保護柵内前季リストアップした全樹木約350個体の樹高、根元直径、胸高(1.5m)直径の調査を完了。新たに成長した樹木と保護柵外の調査は1月以降実施の予定。

○伐採木選木；景観管理林ミヤマガズミを被圧し日照を遮っている樹木およびその南側の十数本を1月伐木の候補として選定。コナラなどの高樹齢・高樹高・大径木が多く、伐木に高度の技術を要する樹木が選ばれ、1月の研修に熟練コースを期待する受講者には最適の実習を提供できるし、初心者向けの小径木も選ばれました。

○食害調査；コナラ林、景観管理林、巨木林の常緑・針葉樹を中心に調査した。糞や食痕の状態から、シカ上陸の形跡は多くないが、イヌツゲ、イヌガヤ、モミなどには「中程度」以上の食害が目立つ。

○コナラ更新林調査；コナラ更新林の実生成長調査を行った。相変わらず成長は遅い。

○マダケ伐採；広場のテント支柱など整備用にマダケ十数本伐採し広場に運んだ。



全樹木の樹高・直径計測記録



「この森をどんな森に？」と呟きながら選木

(注)ミヤマガズミ保護のための伐採は本末転倒では？むしろミヤマガズミを移植すべきでは？とのつぶやきも聞こえました。